

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	岩長姫実ハ 八岐大蛇	稲田姫	素戔鳴尊	備考	典拠
1718	享保3	京 〔座本 榊 山四郎太郎 名代 早雲 長太夫〕	二の替 り	日本振袖始	霧浪滝江	浅尾みやこ	《1》榊山小 四郎	あまつこやねの臣（《1》柴崎林左衛門）、わにがせ の臣《大待山左衛門》、みくまのうじ（《1》沢村音 右衛門）、あめわかひこ（榊山四郎太郎＝《2》小四 郎）、こたん（坂東又十郎）、いほはた（霧浪滝 江）、しづはた（尾上左門）、そみん（《1》坂東彦 三郎）	『近松脚本 集』『江戸 文学図録』
1719	享保4	森田座	盆	〔日本振袖の始〕				天津こやねの尊（《1》松本幸四郎）、いなた姫のめ のと（《1》浅尾重次郎） ※『〔役者三蓋笠〕』江戸の巻の浅尾重次郎の項に 「日本振袖の始にいなた姫のめのととなられ」とあ る。	『歌舞伎評 判記集成 第一期』
1809	文化6	市村座	6/14～	日本振袖始 五だんつゞき	《2》沢村四 郎五郎	《2》沢村田 之助	《7》市川団 十郎	■【角】素戔ノ鳴尊 蘇民将来（沢村源之助＝《4》宗十郎）、巨旦女ぼう いほはた（《2》沢村田之助）、鱈香背の臣・足摩乳 （《4》嵐新平）、天稚彦（坂東鶴十郎）、大山祇の 臣（坂東大五郎＝《4》坂田半五郎）、にゝぎの尊 （中山岩次郎）、三つ熊のうじ・手摩乳長者（沢村治 之助）、うけもちの長・天津児屋根の臣（《2》市川 門三郎）、巨旦将来（《5》松本幸四郎）	辻番付・役 割番付（紋 番付）・絵 本番付
1858	安政5	中村座	10/14・ 20～26	八雲立湯津妻櫛 常磐津 日本振袖始 三段目口切	《6》市川団 蔵	岩井桑三郎 ＝《8》半四 郎	中村福助＝ 《4》芝翫	■【語】近松が文作のノ振袖の始をノ豊後の掾がノ浄 るりに写て ■【角】素戔鳴尊ノ稲田姫 ※15日大火。日付は『江戸芝居番付朱筆書入れ集成』 による。	辻番付・役 割番付（紋 番付）・絵 本番付
1891	明治24	京都 夷谷座	7/1～20	日本振袖始 大内・内侍所・長者内・大蛇 退治	嵐佳久蔵	中村仙歌	市川由尾	※女芝居。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1904	明治37	大阪 角座	4/1～	日本振袖始 肥の川上大蛇退治	市川右団次 ＝《1》齋入	尾上多見之 助＝《3》多 見蔵	中村福助＝ 《2》梅玉		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1904	明治37	名古屋 新守座	5/13～ 19	日本振袖始 肥の川上大蛇退治	市川右団次 ＝《1》齋入	市川右之助 ＝《2》右団 次	中村福助＝ 《2》梅玉	■【角】新著歴史狂言ノ素戔烏命大蛇退治	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1904	明治37	京都 明治座	12/1～ 16	神代巻 簸川上大蛇退治	市川右団次 ＝《1》齋入	中村政治郎 ＝《3》梅玉	中村福助＝ 《2》梅玉		『近代歌舞 伎年表・京 都篇』

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	岩長姫実ハ 八岐大蛇	稲田姫	素戔鳴尊	備考	典拠
1907	明治40	明治座	4/23~	大蛇退治 籬の川上大蛇退治	市川右之助 =《2》右団 次	市川鯨丸= 《2》米升	《5》市川小 団次		辻番付・絵 本番付・筋 書
1911	明治44	京都 明治座	7/3~18	神代の巻 籬の川上大蛇退治	市川右団次 =《1》斎入	市川福之助	《5》実川延 三郎		『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1912	明治45	大阪 角座	6/3~20	神代の巻 籬の川上大蛇退治	市川右団次 =《1》斎入	市川福之助	《6》嵐吉三 郎	■【角】大蛇ノ退治	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1913	大正2	名古屋 笑福座	2/12~ 18	日本振袖始 八頭大蛇退治				中村雁笑一座	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1915	大正4	帝国劇場	11/1~ 20	日本振袖始 出雲国籬の川上	藤間房子	小林延子	中村東蔵= 《6》大谷友 右衛門	長者手摩乳（坂東弥五郎）、長者妻足摩乳（木村重子） ※右田寅彦脚色、藤間勘右衛門=《7》松本幸四郎 振付。	辻番付・役 割番付（紋 番付）・筋 書
1925	大正14	大阪 弁天座	10/1~ 14	大蛇退治 出雲国籬の川上	《2》市川右 団次	《3》坂東秀 調	片岡我童= 《12》仁左 衛門	浄瑠璃神代の巻の内	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1929	昭和4	大阪 天満八千代 座	1/1~	大蛇の酒 籬の川上	（八岐大 蛇）《2》市 川右団次	中村福太郎	（山神） 《6》嵐徳三 郎	■【語】巳のとしの干支にちなみて	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1940	昭和15	大阪 中座	1/1~25	剣 出雲籬の川	《7》沢村宗 十郎	中村扇雀= 《2》鷹治郎	《1》中村魁 車	■【角】神代物語 ※文楽座太夫三味線特別出演。 ※奉頌皇紀第二千六百年。食満南北考証、榎茂都陸平 按舞。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1940	昭和15	新橋演舞場	2/1~	剣 出雲籬の川	《12》片岡 仁左衛門	沢村訥升= 《8》宗十郎	市川寿美蔵 =《3》寿海	■【角】神代物語 ※大阪文楽座特別出演。 ※巖谷三一演出、食満南北考証、坂東三津之丞振付。	筋書
1965	昭和40	新橋演舞場	11/29	日本振袖始 大蛇退治	川口小枝	扇崎蝶女	市川猿之助 =《2》猿翁	※文楽座出演。 ※白蝶会。川口秀子振付。	筋書
1971	昭和46	国立劇場	12/3~ 25	日本振袖始 出雲国籬の川	《6》中村歌 右衛門	《6》中村東 蔵	市川海老蔵 =《12》団 十郎	※第四六回歌舞伎公演。戸部銀作脚色、藤間勘十郎= 《2》勘祖振付、野沢松之輔作曲、田中伝左衛門作 詞。 ※文楽座特別出演。	筋書

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	岩長姫実ハ 八岐大蛇	稲田姫	素戔鳴尊	備考	典拠
1975	昭和50	国立劇場 小劇場	8/24～ 25	日本振袖始 大蛇退治 簸の川川上	《7》嵐徳三 郎	《7》嵐徳三 郎	坂東慶三＝ 《5》秀調	■【角】大喜利／所作事 ※第八回青年歌舞伎祭、第三回日桜会公演。奈河彰輔 補綴、花柳芳次郎＝《2》寿応振付、竹沢団二郎＝団 七作曲、仙波佐太次作調。 ※文楽座特別出演。	筋書
1980	昭和55	京都 京都府立会 館	11/30	大蛇 (日本振袖始)	市川猿之助 ＝《2》猿翁	—	—	※文楽座出演。 ※竹本織大夫 春日とよ子の会。素踊。	『市川猿之 助の仕事』
1982	昭和57	国立劇場	8/3	日本振袖始	《7》中村芝 翫	中村児太郎 ＝《9》福助	中村橋之助 ＝《8》芝翫	※羽衣会。戸部銀作脚色、野沢松之輔作曲、藤間勘十 郎＝《2》勘祖振付。	筋書
1984	昭和59	歌舞伎座	5/2～27	日本振袖始 簸の川	《6》中村歌 右衛門	《7》尾上菊 五郎	市川海老蔵 ＝《12》団 十郎	※文楽座出演。 ※戸部銀作脚色、藤間勘十郎＝《2》勘祖振付。	筋書
1986	昭和61	歌舞伎座	11/28	大蛇 (日本振袖始)	市川猿之助 ＝《2》猿翁	—	—	※文楽座出演。 ※藤紫会。素踊。	筋書
1989	平成1	京都 南座	5/30	日本振袖始 大蛇退治	《7》嵐徳三 郎	—	—	※文楽座出演。 ※南座舞踊特別公演。《4》藤舎呂船作調、吉村雄輝 夫振付。	筋書
1993	平成5	京都 南座	5/28	大蛇退治	《5》坂東玉 三郎	—	—	※文楽座出演。 ※藤舎名生関西襲名披露公演。《4》藤舎呂船作調、 《7》藤間勘十郎振付。	筋書
1994	平成6	熊本 八千代座	10/1～ 11	大蛇 日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	—	—	※文楽座出演。 ※坂東玉三郎舞踊公演。《7》藤間勘十郎振付。	筋書
1995	平成7	国立劇場	1/3～28	日本振袖始 簸の川	《7》中村芝 翫	尾上丑之助 ＝《5》菊之 助	中村橋之助 ＝《8》芝翫	口上役（《5》坂東秀調） ※第一九一回歌舞伎公演。戸部銀作脚色、《2》藤間 勘祖振付、野沢松之輔作曲（義太夫）。	筋書
1997	平成9	国立劇場	5/27	大蛇退治	《5》坂東玉 三郎	—	—	※文楽座出演。 ※坂東玉三郎・豊竹咲大夫の会 東京公演。《2》藤間 勘祖振付。	筋書
1997	平成9	シアターV アカサカ	8/4～10	日本振袖始	中村芝雀＝ 《5》雀右衛 門	中村芝雀＝ 《5》雀右衛 門	《8》大谷友 右衛門	※第二回幻想歌舞伎。《4》中村雀右衛門監修、岡本 さとる脚本、《7》藤間勘十郎演出並振付、豊沢泰二 郎作曲（竹本）、杵屋栄津三郎作曲（長唄）。	筋書
1998	平成10	歌舞伎座	6/2～26	日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	中村芝雀＝ 《5》雀右衛 門	《4》市川左 団次	※梅津貴祖振付、豊竹咲大夫補曲、鶴沢清介補曲、 《6》藤舎呂船作調、《2》藤舎名生作調、川崎哲男補 綴、竹柴聡補綴。	筋書

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	岩長姫実ハ 八岐大蛇	稲田姫	素戔鳴尊	備考	典拠
2000	平成12	国立劇場	2/13～ 20	日本振袖始	市川猿之助 ＝《2》猿翁	《2》市川笑 也・《5》坂 東玉三郎 (16～18 日)	市川右近＝ 《3》右団次	※文楽座出演。 ※第十二回春秋会公演。石川耕士補綴、市川猿之助＝ 《2》猿翁演出、藤間勘吉郎振付〈前〉、藤間微野振 付〈後〉、鶴沢清治作曲、《6》藤舎呂船作詞、《4》 市川猿十郎立師。	筋書
2001	平成13	京都 京都芸術劇 場春秋座	5/29～ 30	日本振袖始	市川猿之助 ＝《2》猿翁	《5》坂東玉 三郎	市川右近＝ 《3》右団次	※文楽座出演。 ※京都芸術劇場春秋座柿落し。石川耕士補綴、市川猿 之助＝《2》猿翁演出。藤間勘吉郎振付〈前〉、藤間 微野振付〈後〉、鶴沢清治作曲、《6》藤舎呂船作 詞、《4》市川猿十郎立師。	筋書
2006	平成18	歌舞伎座	10/28	日本振袖始	藤間紫	—	市川右近＝ 《3》右団次	※創流二十周年記念紫派藤間流舞踊会。竹本葵太夫補 曲。	筋書
2008	平成20	歌舞伎座	9/2～26	日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	《9》中村福 助	市川染五郎 ＝《10》松 本幸四郎	※藤間勘吉郎振付、豊竹咲大夫補曲、鶴沢清介補曲、 竹柴正二補綴。	筋書
2011	平成23	京都 南座	4/3～17	日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	《2》尾上右 近	《2》中村獅 童	※坂東玉三郎特別舞踊公演。藤間勘吉郎振付、豊竹咲 大夫補曲、鶴沢清介補曲、竹柴正二補綴。	筋書
2011	平成23	国立劇場	11/3～ 26	日本振袖始 出雲国簸の川川岸桜狩・出雲 国簸の川川上	《2》中村魁 春	中村梅丸＝ 《1》蒼玉	《4》中村梅 玉	足摩乳（《6》中村東蔵）、乳母いたどり（中村歌 江）、侍女くまざさ（《6》中村松江） ※第二七五回歌舞伎公演。国立劇場開場四十五周年記 念、平成23年度（第66回）文化庁芸術祭協賛。戸部銀 作脚色、国立劇場文芸課補綴、《2》藤間勘祖振付 〈二幕目〉、《2》竹本葵太夫作曲〈序幕〉、野沢松 之輔作曲〈二幕目〉。	筋書
2014	平成26	歌舞伎座	3/2～26	日本振袖始 大蛇退治	《5》坂東玉 三郎	《5》中村米 吉	《6》中村勘 九郎	※歌舞伎座新開場柿落。藤間勘吉郎振付、豊竹咲太 夫補曲、鶴沢清介補曲、竹柴正二補綴。	筋書

平成30年7月以降の主な劇場での上演記録

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	岩長姫実ハ八岐大蛇	稲田姫	素菱鳴尊	備考	典拠
2018	平成30	国立劇場	7/3～24	日本振袖始 —八岐大蛇と素菱鳴尊—	《5》中村時 蔵	《1》坂東新 悟	《2》中村錦 之助	第94回歌舞伎鑑賞教室 ※戸部銀作脚色、《2》藤間勘祖振付、野沢松之輔作 曲。	筋書
			7/13・ 20					社会人のための歌舞伎鑑賞教室	
			7/16・ 20～24					親子で楽しむ歌舞伎教室	
2020	令和2	歌舞伎座	12/1～ 26	日本振袖始 大蛇退治	《5》尾上菊 之助・(9～ 26日)《5》 坂東玉三郎	《4》中村梅 枝	(1～7日) 《9》坂東彦 三郎・《5》 尾上菊之助	十二月大歌舞伎 ※8・18日休演。 ※藤間勘吉郎振付、豊竹咲太夫補曲、鶴沢清介補曲。 ※坂東玉三郎1～7日休演。(岩長姫実ハ八岐大蛇を尾 上菊之助、素菱鳴尊を坂東彦三郎が代演。)	筋書
2021	令和3	南座	8/2～24	日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	河合雪之丞	《4》中村橋 之助(A日 程)・《3》 中村福之助 (B日程)	坂東玉三郎特別舞踊公演 ※10・16日休演 ※2・4・6・8・11・13・15・18・20・22・24はA日程、 3・5・7・9・12・14・17・19・21・23はB日程。 ※藤間勘吉郎振付、豊竹咲太夫補曲、鶴沢清介補曲、 竹柴正二補綴。	筋書
2022	令和4	博多座	2/2～19	日本振袖始	《5》坂東玉 三郎	河合雪之丞	《4》中村橋 之助(A日 程)・(3～ 19日)《3》 中村福之助 (B日程)	坂東玉三郎特別舞踊公演 ※9・14日休演。 ※藤間勘吉郎振付、豊竹咲太夫補曲、鶴沢清介補曲、 竹柴正二補綴。 ※2・4・6・8・11・13・16・18はA日程。3・5・7・ 10・12・15・17・19はB日程。 ※中村橋之助怪我のため3日以降休演。(A日程の素菱 鳴尊を中村福之助が代演。)	筋書